

目 次

◆実践記録の蓄積はより確かな実践と研究を創造する 牧口 典子 1

新会長所信論文

◆専門学会としての存在感を明確にする 寺尾 慎一 4

特 集

「生活・総合で育つ子ども」
—『生活・総合の理念』を一貫して重視している学校からの提言—

◆内から育つ 伊那市立伊那小学校 8

コメント 伊那小学校の実践の根底にあるもの 平野 朝久 15

◆子どもの「こうしたい」「もっとこうしたい」を大切に,
活動や学びを広げ深める 上越市立大手町小学校 16
—地域とともに創り、地域を元氣にする「生活・総合学習」の展開—

コメント 大手町小学校から学ぶ 生活科・総合的な学習のキーワード 木村 吉彦 23

◆くらしをみつめ、自らの可能性をひらく子ども 富山市立堀川小学校 24
—個が育つ教育経営—

コメント 自分を見つめて気付き、他者を深く温かく洞察する 藤井 千春 31

◆師弟相互の人格的交渉を大切にする
奈良女子大学附属小学校の独特の歴史と文化 奈良女子大学附属小学校 32

コメント 奈良女子大学附属小学校の味わい方 久野 弘幸 39

◆生活・総合で育つ子ども 横浜市立大岡小学校 40
—子どもと共に創る学び—

コメント 経験単元を原理とした学級カリキュラムによる教育の創造 奈須 正裕 47

◆『一人調べ』の過程と『話し合い活動』の体験から、他者へ働きかけるエネルギーが生まれ、
協同的に取り組む総合的な学習の実践 大洗町立南中学校 48

コメント 生徒と教師が共に築き合う学校 小林 宏己 55

◆総合学習「B I W A K O T I M E」28年間のあゆみ 滋賀大学教育学部附属中学校 56
—主体的に探究する生徒の育成を貫き、総合学習の危機をいかにしてのりこえたか—

コメント 滋賀の地域に根ざした中学校の総合学習実践の厚み 木全 清博 63

◆鹿本高校 総合的な学習の時間「Qタイム」の取り組み 熊本県立鹿本高等学校 64

コメント 3年間を通した理想的なスパイラルカリキュラム 村川 雅弘 71

自由稿

◆生活科学習への多重知能理論からのアプローチとその意義 柴山 陽祐 72

◆問題解決における知性的な思考の展開 木村 光男 80
—廃校を活用した体験活動でのT児の分析を通して—

◆中学校総合における探究的・協同的な学習の在り方を問う 加納 誠司・河合 哲也 88
—中3「富士中発 坊ちゃんかぼちゃ NEW刈谷ブランド」の実践を通して—

◆学生の自然認識力を高めるために協調学習を導入した授業実践 牧野 治敏 96
—教員養成系学部学生へのフィールドビンゴカード作成の指導より—

研究奨励賞受賞研究

◆「保育所児童保育要録：子どもの育ちを支える資料」の共有化を目指して 伊能 恵子 104
—領域「言葉」におけるルーブリック作成を通して—

◆言葉の力を發揮し豊かに表現する生活科授業の創造 加納 誠司 105
—大正自由教育の理念を現代に活かした「はたけうた」を通して—

日本生活科・総合的学習教育学会会則	106
学会だより	107
学会誌編集委員会投稿および編集規定	108
編集後記	109
第21回全国大会 徳島大会案内	110

写真提供 特集の小・中学校3校より（表紙）

特集の小・中学校・高等学校5校より（裏表紙）